

## 2019 地域民主教育全国交流研究会・現地見学ツアー

企画：NPO法人安房文化遺産フォーラム

ホームページ <http://bunka-isan.awa.jp>

房総南部の館山は、幕末から台場が設置され、明治期からは帝都防衛の東京湾要塞地帯となりました。関東大震災で99%壊滅し、1930年に海を埋め立てた館山海軍航空隊が開かれました。ここで特殊訓練を受けたパイロットや落下傘部隊などが、中国重慶やハワイ真珠湾をはじめ南洋諸島へ出撃しています。

次いで館山海軍砲術学校や洲ノ埼海軍航空隊が開かれ、重要な軍都になっていきました。戦争末期には本土決戦に備えて7万の兵が送り込まれ、陸海軍の特攻基地が次々と作られました。

2004年に一般公開が始まった館山海軍航空隊赤山地下壕跡は、日米開戦前から掘り始められたという重要な証言があります。終戦直後にはアメリカ占領軍が上陸し、本土唯一「4日間」の直接軍政が敷かれ、戦後日本のスタートの地となりました。

戦後、軍の払い下げ地に開設された長期婦人保護施設「かにた婦人の村」には、日本人ただ一人の証言を受けて建立された「噫従軍慰安婦」碑や、本土決戦の抵抗拠点の地下壕があります。一方、大巖院の「四面石塔」は、各面に朝鮮ハングル・インド梵字・中国篆字・和風漢字で「南無阿弥陀仏」と刻まれており、朝鮮侵略後の戦没者供養と平和祈願に建立されたと考えられます。また、明治の洋画家・青木繁が滞在し重要文化財『海の幸』を描いた「小谷家住宅」は、美術界の聖地として募金によって修復され、記念館が開館しました。「館山まるごと博物館」では、戦争の加害と被害、交流と共生、震災戦災の復興など、多面的に「平和の文化」を学ぶことができます。



**\*日程** : 11月5日(火) 8:00~14:30

※ 宿泊は裏面を参照し、各自で予約してください。

**\*参加費** : 6,000円 (バス代・昼食代・テキスト代を含む)

※ 冊子「館山まるごと博物館」を配布します。

**\*集合** : 7時50分 館山駅西口 ロータリー

**\*見学地** : ・館山海軍航空隊赤山地下壕跡 <館山市指定史跡>

・婦人保護施設「かにた婦人の村」: 「噫従軍慰安婦」碑・128高地「戦闘指揮所」壕

・大巖院: ハングル「四面石塔」 <千葉県指定有形文化財>

・青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅 <館山市指定有形文化財>

**\*申込〆切**: 9月30日(月) メールまたはFAXで。

**\*定員** 20名 (先着順)

入金口座 ゆうちょ銀行 00260-1-97307 名義=NPO 法人安房文化遺産フォーラム

**\*問合せ** : 090-6479-3498 池田 / 090-3218-3479 河辺

### 申込書

メール [awabunka.npo@gmail.com](mailto:awabunka.npo@gmail.com)

FAX0470-22-8271

ふりがな

氏名 \_\_\_\_\_ メール \_\_\_\_\_

住所 〒 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_ 携帯 \_\_\_\_\_

前日の宿泊地(予定) \_\_\_\_\_

備考 \_\_\_\_\_

## 交通案内

### 【JR館山駅まで】

- ・東京駅から、高速バス「なのはな号」(約110～120分)
- ・ 〃 JR内房線「さざなみ」(約120分)
- ・新宿駅から、高速バス「新宿なのはな号」(約110分)
- ・千葉駅から、高速バス「南総里見号」(約100分)
- ・横浜駅から、「空港リムジンバス」(約110分)
- ・羽田空港から、「空港リムジンバス」(約100分)

### 【自家用車】

- ・東京湾アクアライン、または京葉道路  
～館山自動車道⇒富浦IC下車、左折国道410号(約10分)



### 【帰途】

- ・JR内房線(各停・千葉行) 14:44 館山⇒15:37 君津⇒千葉 16:44
- 【乗換】JR(快速・久里浜行) 15:39 君津⇒16:27 千葉⇒17:11 東京⇒17:23 品川⇒17:47 横浜
- 【乗換】京急(羽田空港行) 17:32 品川⇒17:55 羽田空港国内線ターミナル
- 【乗換】JR(快速・成田空港行) 16:51 千葉⇒17:40 成田空港第2ビル
- ・高速バス「なのはな号」(新宿行) 15:15 館山⇒17:04 新宿
- ・高速バス「なのはな号」(東京行) 15:30 館山⇒17:26 東京
- ・高速バス「南総里見号」(千葉みなと行) 15:25 館山⇒17:18 千葉
- ・リムジンバス(横浜行き) 15:10 館山⇒16:10 君津BT⇒17:00 横浜
- 【乗換】リムジンバス(羽田空港行き) 16:28 君津BT⇒17:00 羽田空港

## 宿泊案内

※各自でご予約ください。宿は他にもあります。問合せ：館山市観光協会 0470-22-2000

### 【館山駅から徒歩圏内】

- ・幸田旅館：2食付 5,400円 TEL 0470-22-3258
- ・ホテルマイグラント：素泊 7,000～8,000円前後 TEL 0470-24-1122
- ・ゲストハウスポセイドン：素泊 4,000円～ TEL 090-2749-0284
- ・館山旅館：素泊 3,800円～(新館 6,300円～)・2食 5,700円～(新館 8,400円～) TEL 0470-22-3385

### 【タクシーで5分圏内】

・・送迎は各お宿に相談してください・・

- ・民宿つのだ：2食付 7,100円～・素泊 4,400円～ TEL 0470-27-2755
- ・お宿やまもと：2食付 8,640円 TEL 0470-22-2671
- ・館山シーサイドホテル：朝食付 9,180円～・素泊 8,100円～ TEL 0120-194-891
- ・夕日海岸昇鶴：2食付 12,420円～・素泊 7,560円～ TEL 0470-23-8111

## ◇「エコミュージアム」のまちづくり◇

1970年代にフランスで提唱された「エコミュージアム」という考え方は、地域全体を「屋根のない博物館」と見立て、魅力的な自然遺産や文化遺産を再発見するとともに、市民が主役となって学習・研究・展示や保全活動をすすめていくという、まちづくりの手法です。自然環境や歴史的環境のあり方を学び、自分の暮らす地域の特性をよく理解し、市民が自らまちづくりに参画する社会が求められています。

館山では、地域資源を活かした教材づくりと調査研究に始まった文化財保存運動が、市民の生涯学習まちづくりに発展しました。

この間、大房岬要塞群は南房総市指定文化財に、赤山地下壕跡は館山市指定史跡に、小谷家住宅(青木繁「海の幸」記念館)は館山市指定文化財に、里見氏稲村城跡・岡本城跡は国指定史跡に、小高記念館と小原家住宅は国登録文化財にと、市民の願いは実を結びました。多様な文化遺産の保存・活用は、点から線につながり、面となって広がり、「館山まるごと博物館」のまちづくりは国内外から注目されています。

## ◇「平和の文化」を未来に◇

戦争の世紀といわれた20世紀から21世紀を迎えるにあたり、ユネスコは「平和の文化」という概念を提唱しました。それは、あらゆる生命を傷つけたり奪ったりせず、争いや対立を暴力によらず、創造的な対話によって解決していくとする考え方や行動様式、価値観のことです。

これを受けて国連は、2000年を「平和の文化国際年」と宣言し、2001～10年を「世界の子どものための平和の文化と非暴力の国際10年」と定めて、「平和の文化」を広めようと世界中に呼びかけました。

ところが、2001年9月11日のアメリカ同時多発事件を境に、世界は再び暴力の嵐に飲み込まれてしまいました。灯されたばかりの「平和の文化」のともし火は吹き消されてしまったかのようでした。

2004年に来日した元ユネスコ平和の文化局長のD. アダムス氏は、「平和の文化」を社会に実現するためには、「ピースツーリズムなどの平和産業の創出が急務である」と言いました。「館山まるごと博物館」では、「平和・交流・共生」の歴史文化を学ぶピースツーリズムを実践しています。